



鎌倉・寸心荘にて（撮影年不明）

日常を 切り取る

—西田幾多郎のありし日々—

2026

3/24_{tue}—9/27_{sun}

<関連イベント>講演会 / 2026 年度西田幾多郎哲学講座①

日常と哲学 —「平常底」について—

【日 時】5月23日(土) 13:30~15:30

【講 師】浅見洋 (石川県西田幾多郎記念哲学館館長)

【会 場】哲学館 哲学ホール

【参加費】500円 ※西田幾多郎哲学講座の年間受講者は不要

申込
不要

石川県
西田幾多郎記念哲学館

Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角井1

TEL (076) 283-6600 FAX (076) 283-6320

URL <https://www.nishidatetsugakukan.org/>E-mail nishida-museum@city.kahoku.lg.jp

■facebook / Instagram でも関連情報を随時更新しています。



観覧時間 ■ 9:00 ~ 17:00 (入室は 16:30 まで)

休 館 日 ■ 月曜日 (祝日の場合は翌平日)、年末年始 (12月29日~1月3日)

観 覧 料 ■ 一般 300円 (団体 250円・20名以上) / 65歳以上 200円

/ 高校生以下無料 障害者手帳をお持ちの方および介助者1名無料

交通アクセス

【車 利用】北陸自動車道 [金沢東IC]-国道159号線 (約20分)

のと里山海道 [白尾IC]- (約5分)

【JR 利用】金沢駅-IRいしかわ鉄道線・七尾線 (約25分)-宇野気駅-

-徒歩 (約20分)-哲学館



日常を切り取る

—西田幾多郎のありし日々—

西田幾多郎は日頃どんな生活を送っていたのでしょうか。家族や友人、弟子たちが残した西田との思い出や、西田の日記、短歌をたどっていくと、少しずつ見えてくるものがあります。三女静子が残したアルバムの中には、家族との他愛もない日々を切り取った写真が多数残されており、当時の西田家の様子が眼前に広がっていくように感じられます。

残された写真や資料をたよりに、人間・西田幾多郎の飾らない姿を紹介します。

2026

3/24_{tue}—9/27_{sun}



砂浜を散歩する幾多郎（撮影年不明、鎌倉）



大正十三年夏

西田静子アルバムより
子犬を抱く幾多郎（大正13年夏、娘たちとともに）



昭和三十二年春
西田静子
父と母と
幾多郎と

西田静子アルバムより
家族写真（昭和3年春、骨清窟の前で）



琴と幾多郎（撮影年不明）



タバコを嗜む幾多郎（撮影年不明）



大正11年4月28日の日記